

② 萩原宗固

汝等このとしごろ、読書詠歌にまめなること、余人にすぎたり、後には皆業なりぬべし、然れども人各得る処あり、彼を学びこれをならはんとすれば、人にすぐれんことかたかりなむ、これよりのち、茂語(横田茂語)は歌をむねとし読書はこれにつげよ、保木は歌よむ事をやめて専ら文よむべし、されどことに勝れたらん人によらざることめくべからず。

当時賀茂真淵は国学の才名世にいられたり、保木は彼につききて学べよ。

(中山信名「温故堂瑞先生伝」)

萩原宗固の奨めで加茂真淵の門へ



適材適所

保己一の師

萩原宗固

そごご

貞辰、号百花庵、

冷泉為村の門下、

国学 和歌、

幕府で御先手与力

川島貴林

たかしげ

漢学・神道

山岡浚明

まじあきら

明阿、

故実学者

律令

東禅寺孝首座

いっしゅそ

中国の古い医学書

このとし宗固また大人をよびていふや
う、汝先に我ことに従ひ、歌を廃(す)
て読書に力を尽して、今既に学術なり
にけり、むべこれより又歌をかね勤む
べし、

人のこはむをりに上下つゞかざらん歌
よまむも便なければなり、

われ年老にたればかなふ可からず、**日
野資枝卿**の門人となるべしと聞えけ
れば、これより日野殿の教をつけら
る。

(甲山信名 温故堂塙先生伝)



萩原宗固の墓 本性寺



2008/4/1

112